

# がん化学療法個人計画書

患者の状態により輸液の内容・量及び投与速度を変更する場合があります。

科名	適応がん種	レジメン名
	非小細胞肺癌	DTX+RAM
投与予定	休薬を含めて1クール	21 日 施行可能な限り



**Day1**

点滴静注 30分  
 生食 100ml  
 デキサメタゾン 6.6mg  
 d-クロルフェニラミン 5mg  
 ファモチジン 20mg

点滴静注 5分  
 生食 50ml

点滴静注 60分※  
 生食 250ml  
**ラムシルマブ 10mg/kg**

点滴静注 5分  
 生食 50ml

★プライミング・フラッシュ 生食必要★

点滴静注 60分  
 生食 250ml  
**ドセタキセル 60mg/m<sup>2</sup>**

**ラムシルマブ投与時には、蛋白質透過型のフィルター(0.2又は0.22ミクロン)を使用すること。**

※初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分間まで短縮出来る。

- ・ラムシルマブ投与でグレード1又は2のinfusion reactionがあらわれる場合には、抗ヒスタミン剤に加え解熱鎮痛剤(アセトアミノフェン等)を前投与する。
- ・ラムシルマブ投与でグレード3又は4のinfusion reactionがあらわれた場合には、本剤の投与を直ちに中止し、再投与しない。  
 ラムシルマブ投与でグレード1又は2のinfusion reactionがあらわれた場合には、投与速度を50%減速し、その後の全ての投与においても減速した投与速度で投与する。
- ・ラムシルマブの投与で高血圧・蛋白尿があらわれた場合は、添付文書の基準を参考に本剤を休薬、減量又は中止する。
- ・ラムシルマブの投与速度は25mg/分を超えない。

薬品名	申請投与量	計算量	実際の投与量	薬価最小組み合わせ
ドセタキセル	60 mg/m <sup>2</sup>	#REF! mg/body	mg/body	内 20mg: 0mg 80mg: 0mg
ラムシルマブ	10 mg/kg	#REF! mg/body	mg/body	内 100mg: 0mg 500mg: 0mg

併用内服薬	用量(1日量)	用法	投与期間

備考	
----	--